

日教振第130号
令和4年12月1日

日本語教育機関等設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎
(公印省略)

令和4年度生活指導担当者研修の実施について（ご案内）

当協会の運営につきましては、日頃からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における生活指導担当者の能力向上を図るため、平成14年度から標記の研修を実施しております。今年度も下記の通り研修を開催することといたしました。

つきましては、貴日本語教育機関等の生活指導担当者（事務職兼務者、教務兼務者を含む。）で参加希望者がいる場合は、**令和4年12月23日（金）**までに参加申込フォームからお申込みくださいますようお願いいたします。

記

1 日 時 令和5年1月19日（木）10:00～17:10

2 実施方法 オンデマンド形式での講義動画視聴
Zoomによるオンライン集合研修（1月19日）

3 定員及び参加要件等

（1）定員50名程度とします。推薦は、1校につき2名までとします。

（2）参加者は次の要件を満たす必要があります。日本語教育機関又は大学等教育機関の現場において、実際に留学生の生活指導に携わっていること。

4 参加費

| | |
|-------------|-------------------|
| 維持会員及び準会員機関 | 8,800円（税込）／1人当たり |
| その他の教育機関 | 17,600円（税込）／1人当たり |

※参加費は、事前振込とし、参加者の決定通知にてご請求いたします。

5 申込方法

参加申込みフォーム<<https://forms.gle/6wt4UmJdX6Wbw2Lq7>>からお申し込みください。

※円滑な受付のため、webでのお申し込みにご協力ください。Webでのお申し込みが難しい場合は、EメールまたはFAXでのお申し込みも受け付けます。

※申し込み受付け後、3日以内（土日祝日除く）に、Eメールで「参加申込確認」を送信します。メールが届かない場合は、受付されていない可能性がありますので、事業部宛てご連絡ください。

6 日程

別紙のとおり

7 生活指導担当者研修専門委員

委員長 志村 信生（（学）石川学園 横浜デザイン学院 戦略企画部統括部長）

委員（氏名五十音順）

荒木 俊弘（麻生外語観光&製菓専門学校 国際交流センター長）

石鍋 梨恵（開成アカデミー日本語学校兵庫川西校 校長）

正能 志保（新宿平和日本語学校 教務主任事務長）

田村 源基（さくら国際言語教育学院 代表理事）

中西 郁太郎（青山スクールオブジャパニーズ 校長）

松崎 聡（国際アート&デザイン大学校日本語科 教務部長）

丸山 茂樹（（一財）日本語教育振興協会 理事）

8 受講証明書

下記の要件を満たした受講者には、受講証明書を発行いたします。

- (1) 申込者本人が全日程に参加していること。（出席状況をビデオ（カメラ）オンで確認します。）
- (2) 研修中に行う理解度確認テストで8割以上正解すること。

9 参加者の決定等

参加者については、後日お知らせします。参加費のお支払方法についても、あわせてお知らせします。

10 Zoon 参加について

- 研修へのご参加には、予め ZOOM に接続できる環境を各自でご準備ください。

パソコンで ZOOM を利用する場合は、ZOOM アプリをダウンロードしなくてもブラウザから参加できます。その場合は、Google Chrome、Firefox、Chromium Edge のいずれかのブラウザをご利用ください。

スマートフォン又はタブレットで ZOOM をご利用する場合は、事前にアプリをダウンロードしていただく必要があります。

（ダウンロード先 URL <https://zoom.us/download>）

- グループワークを行いますので、マイク機能があるデバイスもしくはヘッドセット等をご用意ください。
- 当日は、必ず ZOOM の事前接続テストを実施し、視聴可能であることをご確認ください。
- 協会では個別の環境に起因するトラブルについて、サポートはいたしかねますのでご了承ください。
- ZOOM の参加 ID・URL 等は、追って参加者宛てお知らせします。

ご参加に際しての注意事項

本研修の録音、録画、保存は禁止します。

参加 ID, URL 等を参加者以外に共有すること、参加者以外の方が研修を視聴することは禁止いたします。

【お問い合わせ先】 事業部： 小野寺陽子・渡部

TEL： 03-6380-6557 FAX： 03-6380-6587

Eメール：nisshinkyu2@gmail.com URL：www.nisshinkyu.org

令和4年度生活指導担当者研修日程

【オンデマンド形式での講義動画視聴】

以下の講義動画2本を、1月19日の研修当日前に必ず視聴してください。

視聴方法については、参加者宛て後日お知らせします。(12月末～視聴可能予定)

| | 研修内容 |
|----------|---|
| オンデマンド講義 | ①講義「生活指導とは」 講師：日本語教育振興協会理事 丸山 茂樹 |
| | ②講義「生活指導と関連法規」 講師：日本語教育振興協会専務理事 高山 泰 |

【1月19日(木)】

| 時間 | 研修内容 |
|-----------------|--|
| 9:20～9:50 | 受付 ※混みあいますと入室許可に時間がかかる場合がございますので、余裕をもってご参加ください。 |
| 10:00～10:10(10) | 開会挨拶 日本語教育振興協会理事長 佐藤 次郎 趣旨説明 実行委員長 志村 信生 |
| 10:10～10:50(40) | オンデマンド講義についての質問や解説 講師：日本語教育振興協会理事 丸山 茂樹 日本語教育振興協会専務理事 高山 泰 |
| 10:50～11:50(60) | 講義1「日本語教育機関の在籍管理と教育機関の選定(仮)」 講師：出入国在留管理庁担当官(予定) |
| 11:50～12:00(10) | 質疑応答 |
| 12:00～13:00(60) | 休憩 |
| 13:00～13:30(30) | 講義2「今後の日本語教育機関の在り方、方向性について」 講師：青山スクールオブジャパニーズ 校長 中西郁太郎 |
| 13:30～15:00(90) | グループワーク1「今後の日本語教育機関の変化にどう備えるか」 |
| 15:10～16:40(90) | グループワーク2「ケーススタディ21」 |
| 16:40～17:00(20) | 理解度確認テスト |
| 17:00～17:10(10) | 閉会 |

○日程は変更になる場合があります。

○別紙「令和4年度生活指導担当者研修のねらい」参照

全体のねらい

本年3月の入国制限の緩和により2年ぶりに日本語教育機関に留学生が戻ってきました。一方、「日本語教育の推進に関する法律」の制定をふまえ、コロナ禍においても、日本語教育機関の在り方について積極的な議論が行われてきました。特に同法に記載された2つの制度（日本語教師の資格制度、日本語教育の質の維持向上を図る制度）の創設についての議論が挙げられます。

つまり今後、日本語教育機関の生活指導担当者は、現状の「日本語教育機関の告示基準（法務省）」に則った在籍管理を中心とした生活指導業務以外にも、いくつかの知識、スキルを身につける必要が出てくると考えています。

日本語教育機関が行う「留学」以外の「就労」「生活」のための日本語学習者についての教育や支援に関する知識、また、外国人が地域社会の一員として自立して生活をするために、日本文化社会の習慣を理解促進させるための情報やサポート、さらに前述した教育の質を一定の要件で満たしている日本語教育機関を認定する制度等が創設される場合の、教職員として必要な情報や備えが必要です。

このような日本語教育機関の在り方が社会の要請により劇的に変化する中で、必要なスキルを改めて学び、独力で業務遂行ができるようになることを目指していただくきっかけとするため、今回は経験年数を問わず初任者・中堅の方いずれもご参加いただけるプログラムにしました。

まずは、事前学習としてオンデマンドによる講座2つ(各40分程度)を受講していただき、その上で、研修当日はZOOMによる3つのオンライン講座と2つのグループワークを予定しています。質問については事前だけでなく当日もできるだけ受け付け、お答えします。

オンデマンド講義①「生活指導とは」

生活指導担当者には学生募集から進路指導まで幅広い業務領域があります。まずは自分の業務領域・業務内容を理解する前に、初任中堅に関わらず生活指導担当者としての基本的な心構え、生活指導において留意しておくべきことについて研修前にオンデマンド(約40分)で勉強していただきます。

オンデマンド講義②「生活指導と関連法規」

外国人留学生の生活指導を行うにあたっては、まず我々自身が関連法規に精通していなければなりません。入管法や告示基準、刑法、労基法等を我々の業務に絡めてオンデマンド(約40分)で勉強していただきます。

講義①オンデマンド講義についての質問や解説

事前にオンデマンド①、②で講義を受けた上で質問、疑問をご準備いただきます。講師より重要なポイントについての詳細な解説及び事前質問の具体的な解説をさせていただきます。

講義②「日本語教育機関の在籍管理と教育機関の選定(仮)」

出入国在留管理庁担当官より、在籍管理や本年10月に試行運用された適正校(在籍管理優良校)について解説していただきます。

講義③「今後の日本語教育機関の在り方、方向性について」

現在、議論が行われている日本語教師の資格制度、日本語教育の質の維持向上を図る制度、日本語教育機関の類型化についての現状と、今後日本語教育機関が地域社会でどのような存在になりうるのかについて解説します。

グループワーク「今後の日本語教育機関の変化にどう備えるか」

講義③を踏まえ、日本語教育機関の今後の変化に対応するため、まずは必要なステップとして、今在職している日本語教育機関の現状把握が不可欠です。生活指導担当者が行う関連する業務についてセルフチェックを行い、その上でどのような業務アップデートや知識スキルが必要かをグループワークで話し合います。

グループワーク「ケーススタディ21」

留学生の身の回りに起きる様々な問題について何を根拠にどのように指導していけばよいのか、グループに分かれ、話し合いを行い、その解決方法を考えます。研修終了後には、21項目のケーススタディ解答例を配布いたします。

理解度テスト・アンケート

生活指導担当者研修は、修了証を発行する研修です。講義とグループワークを受け、最後に理解度テストを行っていただきます。

令和4年度生活指導担当者研修参加申込書

令和 年 月 日

一般財団法人日本語教育振興協会理事長 宛て

| | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|------|--|
| 会員番号 ※日振協会員校からご参加 の方のみご記入ください | | 代表者名 | |
| 機関名 | | | |
| 連絡担当者 | TEL | | |
| | 氏名 | | |
| | E-mail(参加申込確認及び 参加決定通知送付先) | | |

標記研修について、下記の通り申し込みます。

記

1.参加希望者

| 推薦順位 | 1 | | 2 | |
|---------------------------------------|---|--|---|--|
| ふりがな | | | | |
| 氏名 | | | | |
| 年齢 (R4.12.1現在) | 歳 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 | 歳 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| 主たる業務 | <input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務 | | <input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務 | |
| 生活指導担当者としての 経験年数 | 年 | 月 | 年 | 月 |
| 事務職員としての 経験年数 | 年 | 月 | 年 | 月 |
| 教務職員としての 経験年数 | 年 | 月 | 年 | 月 |
| ※生活指導担当者とし ての通算経験年数 (R4.12.1現在) | 年 | 月 | 年 | 月 |
| Email(ZOOM参加ID・ URL・研修資料等送付 先) | | | | |

※(1)複数の職場に生活指導担当者として、勤務実態のある場合の通算年数とする。

※(2)経験年数に関しては、未経験の場合、「0」を記入すること。

令和4年12月23日までに事業部(Eメール nisshinkyoy2@gmail.com)宛て送付願います。